コミュニティ なるお

○発行日
2026. 1. 1
○発行責任
鳴尾連合自治会
○編集
コミュニティなるお
編集委員会
TEL. 47―0101

新年のごあいさつを申し上げます

鳴尾連合自治会　会長　川崎　洋光

新年、あけましておめでとうございます。年初めにあたり、ご家族ご一同さまのご多幸をお祈り申し上げます。

今年は「午」年であります。午は前向きなエネルギー、成功、繁栄のシンボルとして、日本人に長く親しまれてきました。常に前進し、後ろを振り返らず前へ進む動物であり、その姿は夢に向かって突き進む人の象徴といわれ、挑戦、目標、飛躍と、まさに理想の干支であります。願をかける存在、福を呼ぶ動物であります。

昨年は西宮市制１００周年を迎える大きな節目の年でした。先人が築いてこられた鳴尾の地を、今日、「鳴尾は一つ」の言葉で住みよい、住んで良かったと思ってもらえる街となるよう努力してまいります。

また、昨年は各地で市制１００周年のイベントが行われ、鳴尾連合自治会も石井登志郎市長から感謝状をいただきました。ひとえに鳴尾連合自治会の活動が、一定の評価をされたものとうれしさを感じるとともに、さらに前進し、街の発展に力を注いでいく所存です。

鳴尾地域には、まだまだ改善すべき事柄もあるため、関係機関とも協議し、安全・安心をより向上させてまいります。

昨今、武庫川女子大学が男女共学になるとか、中学校のクラブ活動が地域に移行するとか、阪神電鉄が自動運転バスの本格的な走行テストを行ったり、現在も継続して道路などの整備を進めていたりと、鳴尾地域の環境が変化しつつあります。鳴尾連合自治会としてもこれらの変化に対応するため、役員一同が今年の干支「午」のように前向きに物事を考え、今の世に合った新しい感覚で頑張ってまいります。また、自然災害に対する安全性をより高めるための努力を、地域住民と協力して進めてまいりたいと思っております。

今年も、鳴尾連合自治会にご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

あけまして おめでとうございます

旧年中は地域情報誌『宮っ子』の取材、編集活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

本年も「地域と地域」「人と人」「地域と人」を「つなぐ」「つないでいく」という思いで活動していきます。どうぞ、よろしくお願いします。

地域情報誌『宮っ子』
鳴尾編集委員一同

鳴尾西　前田文信

編集委員になって13年目。今年も鳴尾地域の魅力を取材して伝えたい。

南甲子園　青石　弘

各地区内の出来事を発信するページです。良き情報をお知らせください。

甲子園浜　柳生美登里

㋐み望む㋞ち中鳴尾の㋒こに行っても㋓ゃ真撮る。さぁ、あなたも一緒に編者委員

高須　廣田久榮

本年も、高須の魅力を発信していきます。よろしくお願いします。

鳴尾東　山本信行

今年も幅広い世代の方々に読んでいただきたいと願っています。

小松　奥野尚美

地域を愛する皆さまの気持ちをつなぐ誌面になるよう努めていきます。

鳴尾北　徳岡かおり

地域の笑顔をつなぐ誌面を目指します。本年も、どうぞよろしくお願いします。

鳴尾北　梅本信二

老若男女、誰もが楽しめる誌面を目指しています。今年も、よろしくお願いします。

鳴尾川を訪ねて

現在の鳴尾川は、枝川町と高須町に挟まれた鳴尾地域の南端に位置します。その名から地域の中央を堂々と流れていく大きな川を考えますが、実際は緑地公園南から河口までわずか 1㎞ほどしかなく、船溜まりの印象です。

今回、この波静かな船溜まりを眺めながら、両岸で起きた地域の多くの出来事をさかのぼって、鳴尾川を考えてみましょう。

現在の鳴尾川

鳴尾川は尼崎港管理事務所が管理しており(西宮市ではなく、兵庫県の管理になっています)、管理区分でも川としてではなく、海とされています。

現在は(株)鳴尾マリーナと西野渡船の船着き場として利用されているだけで、周りは終日、閑散としています。

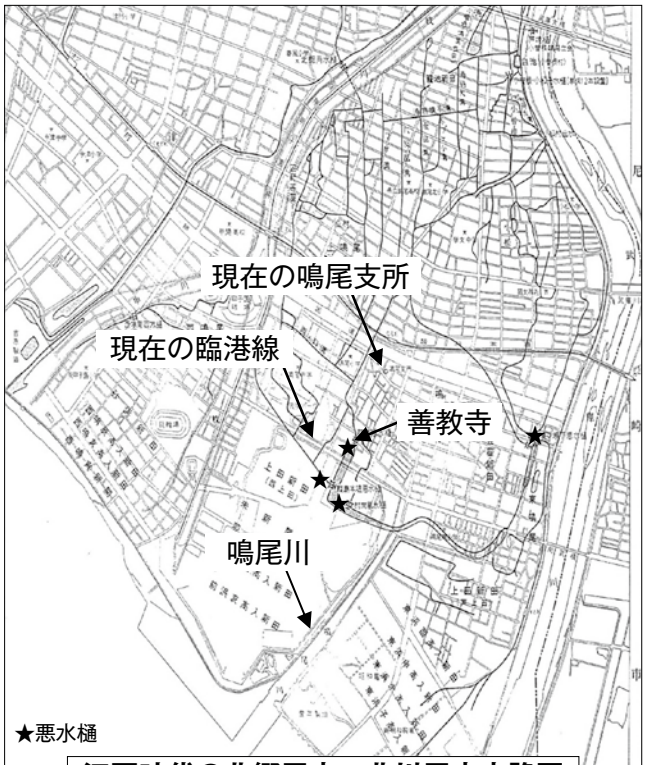
隣接する鳴尾緑地公園は、平成10(1998)年10月の台風10号による鳴尾川からの高潮浸水事故(水門が閉められなかったことによる浸水被害)後、船溜まり部の埋め立て跡にできました。公園内には案内板もないまま、何かのモニュメントのように当時の水門跡がひっそりと立っています。

鳴尾川の成り立ち

古地図の北郷用水・北川用水水路図で当時の鳴尾川を見ると、2本の支流が合流しているのが分かります。1本が現在の鳴尾新川で、もう1本は鳴尾八幡神社の横から、当時の鳴尾村の中心を流れていたようです。この水路が鳴尾川と呼ばれていたのではと考えます。

また、地図をよく見ると、「悪水樋」と小さく書かれています。「悪水」とは、現在でいう生活排水や汚水で、村の中心を流れる水路はその悪水が接続されていて、網の目のように張り巡らされた灌漑(かんがい)用水路と村の中心から排出された生活排水は2本の経路で鳴尾川から海に流されていたようです。

当時の人々の生活には、なくてはならない公共インフラ設備だったのです。



江戸時代の北郷用水・北川用水水路図

鳴尾村の発展とともに

鳴尾の地が大きく発展した要因の一つは、江戸初期に武庫川の連続堤が整えられ、新田開発が盛んに行われるようになったことによります。

鳴尾川も両岸の新田開発で流域面積が大きく広がりました。灌漑用水と生活排水の放流から、多くの物資をやり取りする船着き場として利用されるようになったのです。

鳴尾地域沿岸部のさまざまな物資を鳴尾川に運び、小舟で沖に待つ樽廻船(たるかいせん)などの大型の船に積み込んでいたのではないかと考えます。

明治の時代を迎えると鳴尾村の発展とともに、鳴尾川はより大きな注目を集めるようになります。

綿作を中心とした産業の発展により、鳴尾川は運河や船着き場として、その重要性を増していきました。

コーヒーブレーク

鳴尾町4丁目の緑地にある法華塔の案内文に、新田開発と鳴尾川が善教寺裏まで入り込んでいたと書かれています。

医療法人信和会　明和病院
〒663-8186　兵庫県西宮市上鳴尾町 4-31
TEL　0798-47-1767(代表)
0570-0-89470(患者さん専用)
ホームページ　https://www.meiwa-hospital.com

親切で信頼される病院を目指します

めいわリハビリテーション病院 / 明和キャンサークリニック / エレガーノ西宮･めいわクリニック / 訪問看護センター明和 / 居宅介護支援事業所　併設

いいね！鳴るほど ザ･トピックス
LINE 明和病院 始めました 公式アカウント
友だち募集中!!

●診療科目　内科　循環器内科　消化器内科　血液内科　糖尿病・内分泌内科　腫瘍内科　腫瘍精神科　腎臓内科　人工透析　内科　呼吸器内科　外科　消化器外科　小児外科　乳腺・内分泌外科　呼吸器外科　肛門外科　ペインクリニック外科　整形外科　リハビリテーション科　皮膚科　形成外科　泌尿器科　小児科　耳鼻いんこう科　眼科　産婦人科　放射線科　麻酔科　臨床検査科　病理診断科　救急科　歯科　歯科口腔外科

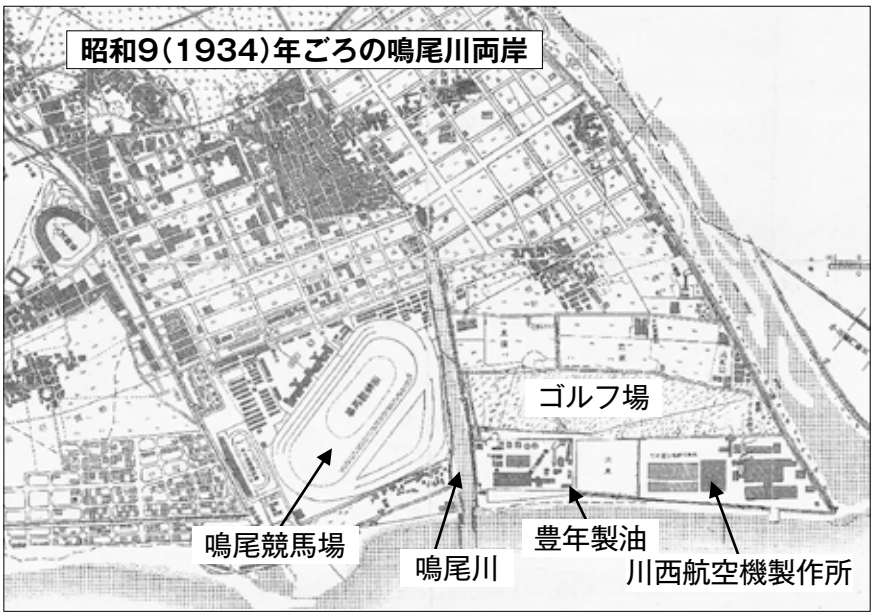
広告

明治34（1901）年、鳴尾辰馬家の辰馬列叟翁は、その遺言で「鳴尾川を掘立運河とし、縦横に枝川の運河を開通させ、海陸の物資を自由自在に運搬させる事ができれば…」と、鳴尾川を陸側へ掘り進め、船舶による流通を盛んにして鳴尾地域発展の重要拠点にすべきと考えていました。

その後、軍馬の育成と奨励を目的に、国策として東岸に鳴尾速歩競馬会、西岸に関西競馬倶楽部の二つの競馬場が建設されました。この時に、両岸の広大な農地は競馬場に転用されました。

コーヒーブレーク

競馬場正門への道路として造られた1本の道が、現在の本郷学文筋です。



軍馬育成が目的とはいえ、娯楽として競馬が行われると、熱狂した多くの人々が各地から鳴尾村に集まり、活況を見せました。

程なく、二つの競馬場は統一され、廃止となった東岸の競馬場跡地は、一時期ゴルフ場になりましたが、地主だった鈴木商店の解散により、川西航空機製作所に売却されました。

時代は徐々に戦時体制が色濃くなり、西岸には海軍の滑走路ができました。鳴尾村は企業城下町として、農業地帯から住宅地へと、その姿を変えていったのです。

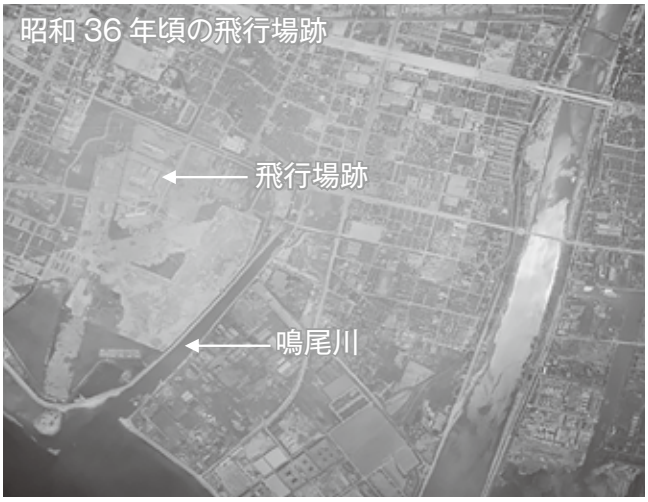
戦火から戦後へ

戦争末期には、これらの施設を目標とした米軍の激しい爆撃を受け、鳴尾川は川面に炎を写し、両岸は火の粉の中を逃げ惑う人たちの叫び声であふれていたことでしょう。

終戦を迎えると、鳴尾地域は工業地帯から商業地域、住宅地へと変貌し、東岸の川西航空機製作所はやがて武庫川団地に、西岸の飛行場は浜甲団地となりました。

鳴尾川は、運河としての使命を終えました。明治、大正、昭和と、鳴尾川両岸に華々しく造られた大型施設が、時代とともに姿を消してゆく様を見続けて、鳴尾川はどのように思ったでしょう。

今回、駆け足で農業地帯から工業地帯、商業地域、そして住宅地へと、鳴尾川の両岸の移り変わりをさかのぼりました。



◆参考文献
『鳴尾村誌』『西宮市史第二巻』

◆資料提供
西宮市役所水路治水課
西宮市役所総務課公文書・歴史資料チーム
兵庫県尼崎港管理事務所・業務管理課

広告

小松

小松のハロウィン！

昨年10月25日、小松北町子ども部の企画で「北町ハロウィンウォークラリー」が開催されました。親子で仮装して街を歩き、ポイントでお菓子を配るのは、登下校の見守り隊や地域の皆さん、老人ホームの皆さんです。小松北町が一つにつながり、子どもたちも参加者も笑顔でいっぱいになりました。

北町ハロウィンウォークラリー

また、翌26日には、子ども食堂「まきちゃんち」イベントとして、仮装して公園の清掃とハロウィンパーティーを行う企画がありました。あいにくの雨で清掃はできませんでしたが、パーティーは大いに盛り上がりました。

まきちゃんちのハロウィンパーティー

さらに、小松商店街でもハロウィンイベントが企画されていましたが、雨のため中止に。それでもハロウィンが地域をつなぐイベントになってきています。

鳴尾は、七つの小学校区（高須校区は２小学校）で構成されています

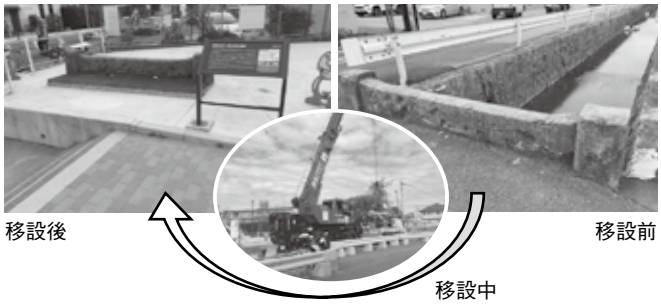
鳴尾北

戦後 80 年　鳴尾に残る戦争の記憶（本郷学文筋・橋の側壁移設保存）

戦後80年。この平和な鳴尾地域にも、かつての戦争の爪痕が残されていました。

80年前、鳴尾村は計８回の空襲を受けました。中でも８月５日の深夜から６日の未明にかけて、爆撃機B29の130機もの大編隊が鳴尾村の上空に飛来し、徹底的な攻撃を受けて村は焦土と化しました。この日だけで鳴尾地域では125人の尊い命が失われ、逃げ遅れた人がこの橋の上で折り重なって亡くなったと伝えられています。

その時に被弾した橋の痕跡側壁は昨年8月24日、「戦争遺跡」として、近くの学文殿公園に移設されました。



鳴尾東

頑張れ！上田の名人たち

昨年11月２、３日の連休に、上田自治会主催による「第13回秋の手作り展」が上田公会堂で開かれました。

出展の最高齢は90歳ですが、第10回をピークに、最近は高齢化で出展作品は年々少なくなってきているようです。

ハイレベルな作品群

展示作品は絵画、手芸、洋裁からパッチワークなど、そのジャンルの幅と見事さは必見の価値ありと感動します。聞けば、さまざまな展覧会で受賞されている人たちの作品がたくさん出展されているとのこと。レベルの高さに思わず納得です。

来場者は延べ約200人で、安定した人気があるようですが、こちらも高齢化が進み、「夫は見に行っていますが、自分は足が悪くて２階の会場まで行けない」と寂しそうに話す女性もいました。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

鳴尾地区の皆さま、本年も郵便局をご愛顧いただきますようお願い申し上げます

西宮鳴尾郵便局　局長　吉澤さち子・甲子園郵便局　局長　木下哲一・西宮若草郵便局　局長　片山久恵
西宮小松郵便局　局長　中野　晃・西宮笠屋郵便局　局長　留田　学・西宮高須郵便局　局長　片山晶二
西宮高須南郵便局　局長　榎本貴子・西宮枝川郵便局　局長　福田基伸・西宮浜甲子園郵便局　局長　岩井保憲
西宮南甲子園郵便局　局長　狭場和子

郵便局

広告

南甲子園

甲子園 SMART ECO LINE

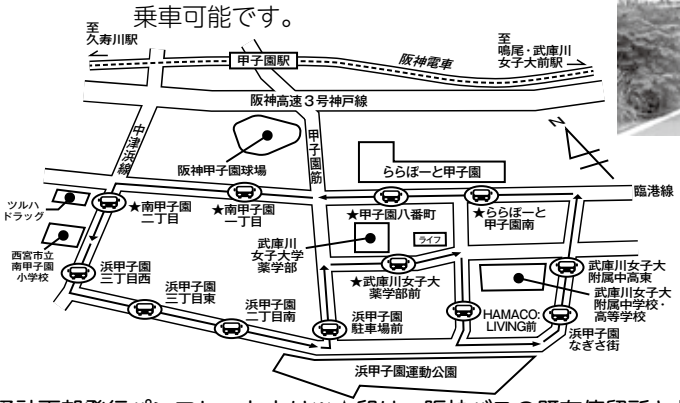
自動運転 EV バス実証実験が 南甲子園地区・甲子園浜地区で行われています

西宮市と阪神電気鉄道は、持続可能な交通体系の構築とみんなが暮らしやすく、お出かけしたくなるまちの実現を目指し、次世代モビリティーの実現化に向けた取り組みを行っています。

すでに、自動運転EVバス実証実験が昨年10月8日から今年２月中旬まで行われています。乗車ご希望の方は右下の二次元コードからお申し込みください。なお、当日空席があれば予約せずに乗車可能です。

甲子園浜

走行中のEVバス



詳しくは下記の二次元コードから確認できます。

参考：阪神電気鉄道（株）都市交通計画部発行パンフレットより※★印は、阪神バスの既存停留所と共通

鳴尾西

鳴尾小学校の第 153 回運動会

明治6(1873)年に創立された鳴尾小学校の第153回運動会が、昨年10月18日に開催されました。

鳴尾地域で最も長い歴史を持つ同校ですが、近年は校区内の少子化が進み、各学年2クラス編成となっています。それでも当日は、「みんな　なかよく　力いっぱい」をスローガンに、子どもたちは保護者や地域の皆さんの声援を受けながら、元気いっぱいで競技に取り組みました。

保護者や地域の温かい声援に包まれて

高須

雨の中でも元気いっぱい 学んで遊んで楽しい１日！

あいにくの空模様の昨年10月26日、「赤胴車マルシェ」「子どもフェスタ」「フリーマーケット」が規模を縮小して開催されました。この日を楽しみにしていた大勢の子どもたちは、ふれあい動物園など、お目当てのブースで思い思いに楽しんでいました。

「クロネコヤマト『こども交通安全教室』」には多くの親子が参加し、横断歩道の正しい渡り方を学んだり、EV車の車内を見学したりしました。運転席に座った男の子は、満面の笑みを浮かべていました。スタッフは「保育所や小学校などにも訪問して交通安全教室を行っており、年齢に応じてエコ対策の話もしています」と話していました。

こども安全教室に参加した3歳の男の子と両親

予告：１月11日（日）「どんど焼き」高須西小学校校庭

美しく豊かな未来のために…

水なし印刷 ＋ カーボンオフセット で

あなたがつくる 印刷物のカーボン0（ゼロ）を実現します

再生可能エネルギーの利用

紙製ファイルへの移行促進（脱プラスチック）

※詳しくはホームページをご確認ください

株式会社 わかくさ印刷

☎(0798)48－3419

https://wakakusa-p.co.jp/

〒663-8124 西宮市小松南町３丁目１番８号

広告

「鳴尾地域をつなぐ」コミュニティー④

地域をつなぐ学生ボランティアグループ

「しんめたい」

（武庫川女子大学公認サークル）

鳴尾には、地域をつなぐためにさまざまな活動を行っている「コミュニティー」や「つどい場」が多くあります。このコーナーでは「人と人」「地域と地域」をつなぎ、地域づくり・まちづくり・地域の活性化に取り組んでいる人や団体を紹介します。

今回は鳴尾八幡神社を拠点に活動している学生中心のボランティアグループ「しんめたい」を紹介します。

グループ名は「神馬（しんめ）」「新芽」の文字から「しんめたい」と名付けました。中学生から大学生まで男女120人以上が所属し、子ども向けのイベントや地域行事の運営を通して、地域との「つながり」と「輪」を広げています。

小さな輪から広がった大きなつながり

令和5年6月、わずか6人の学生からスタートした3年目のボランティアグループです。その後、武庫川女子大学の公認を受け、正式なサークルとして活動しています。今は他大学の男女の学生も多くいます。

鳴尾八幡神社「奉仕会」の皆さんからは、ボランティアの心構えや地域との関わり方、イベント運営のノウハウなどを学び、学生たちにとって貴重な経験の場となっています。

神社というと、宗教的な印象を持つ人がいるかもしれませんが、「しんめたい」は宗教とは関係なく、地域貢献を目的とした学生ボランティア団体として活動しています。

地域と共に、笑顔あふれる時間を

神社以外の活動にも力を注ぎ、地域との輪を広げていきたいと思っています。

昨年9月には、鳴尾駅前公園で「しんめたい」主催のイベント「とびだせ！　青空教室」を主催し、神社以外での活動の第一歩を踏み出しました。

鳴尾駅前公園でのイベント

また、週末には清掃活動を行い、地域との交流を深め、さらに神社の「鎮守の森市」や「賑（にぎ）わい行事」などのイベントを通して、地域の人、子どもたちなどとふれあう機会を多く持ちました。地域の皆さんからの感謝の言葉や子どもたちの笑顔が、活動の原動力になっています。

次の世代へ、地域の思いをつなぐ

今後は、年末年始の神社行事（振る舞い酒・とんど焼き）の手伝いや駅前イベント第2弾の開催を予定しています。

そして、発足当初のメンバーが卒業を迎える中で、新たに中・高生にも参加を呼びかけ、将来的には、地域の核として貢献できる団体にしたいとの思いから、他のボランティア団体との協働や新しい地域プロジェクトにも挑戦することを目指しています。

縁日で子どもたちと交流する学生メンバー

誰でも気軽にちょっと参加・手伝いができる場

「しんめたい」は、学生の皆さん一人一人の自主性を大切にしています。自分のスケジュールに合わせて、週末やイベント開催時に、気軽に参加することができます。ぜひ一度、「しんめたい」の活動を体験してみてください。

Instagram：@shinmetai
（活動の様子やイベント情報を随時発信中！）
問い合わせはインスタグラムにDMをお願いします

@SHINMETAI

しんめたいキャラクター

甲子園町の通りに愛称が付きました

阪神甲子園球場の南側通り、甲子園筋から中津浜線までの間に「ホームランストリート」という愛称が付きました。この通りより西側は「酒蔵通り」と名付けられています。

令和6年に甲子園素盞嗚（さのお）神社で行われた「甲子園100年まつり」で、「甲子園町の通りには名前がないので、道案内のときに愛称があると説明しやすいですね」という声がきっかけでした。

この通りがホームランストリート

「名前をつけよう実行委員会」が発足し、翌年の甲子園まつりでの発表を目指し、昨年7月から8月にかけて名称を募集。町内3店舗に設置した応募箱に寄せられた400通以上の中から上位3案を選び、10月10日までの決選投票には430票が集まりました。

10月19日の「甲子園まつり」当日、正式に発表。これから地域に親しまれる愛称となることでしょう。

地域で子どもを支える
甲浜ささえ隊

地域で子どもを支える仕組み

「甲浜ささえ隊」は、甲子園浜小学校児童を地域で支えることを目的に活動しています。これは、同小学校のコミュニティ・スクールの取り組みの一つで、児童が学校や地域での活動時に支援が必要な場合、オープンチャットを使用して、推進員が隊員に呼びかける仕組みです。

オープンチャットには、ニックネームで参加でき、小学校児童の保護者のほとんどが加入。地域の人も含め、現在550人ほどの登録があります。活動内容は学校の園芸ボランティア活動、学校の図書ボランティア活動、地域イベントのお手伝い、児童登下校の見守り「見守り隊」、リサイクル活動の案内などです。

ライフスタイルに合わせて、無理のない形で参加できます。

〝地域の力〟が子どもたちの学びを支える

甲子園浜小学校は、地域とともにある学校を目指し、「コミュニティ・スクール」として、地域、保護者、学校が協力しながら子どもたちの学びや育ちを支える仕組みをつくっています。

その中で、子どもたちにとって学びの成長につながる「こんなことがあったらいいな」という声を、学校や保護者から聞き取り、地域とつなぎ、ボランティア募集や活動の調整をしているのが「地域学校協働活動推進員」です。

《現在、甲浜ささえ隊を募集中です。》

見守り隊「行ってらっしゃい」

小松に動物園がやってきた!!
～こまつふれあい動物園開催!!～

「こまつふれあい動物園」が昨年11月1日、小松幼稚園運動場で開催されました。現在、小松幼稚園は休園中で、「この場所をもう一度地域の皆さまでにぎやかにしたい」「阪神パークなどの周辺の動物園が閉園する中、地域の子どもたちに動物と触れ合う機会を提供したい」との思いで、小曽根町で子ども食堂を開催している岸麻希さんが企画。小松小学校区7自治会の会長で構成する小松自治連絡協議会が賛同し、共催として実施に至りました。

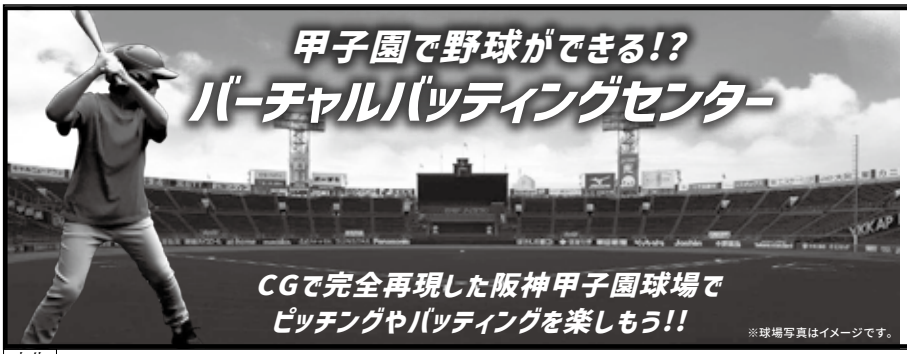
ふれあい体験枠は、50組5回交代制で事前予約が必要で受け付け開始わずか3時間で埋まってしまいました。前日は大雨で開催が危ぶまれましたが、当日は一転、さわやかな秋晴れの下、運動場いっぱいにウサギやモルモットにヒヨコ、イグアナやキングスネークの爬虫類に、ポニーやヤギなど多くの動物がやってきました。

訪れた子どもたちは大興奮！ 初めて触る動物に、最初はおっかなびっくりでしたが、見守る保護者の笑顔に安心して徐々に動物との距離が近づいていきます。その様子に、子ども食堂スタッフや地域を挙げてバックアップした自治会長たちもみんな笑顔でした。

触れるかな？

ご飯食べてね！

ヒヨコ、逃げないで！



BE-STADIUM KOSHIEN

阪神甲子園球場南隣 甲子園プラス2F

[営業時間]10:00～18:00
※3月～10月は10:00～19:00 ※催し物により変動します。

[休 業 日]月曜日(試合開催日、祝日を除く)、年末年始
※上記の他、メンテナンス等のため休業となる場合があります。

TEL.0798-42-6970

詳しい営業情報は公式HPよりご確認ください。

ビースタジアム甲子園　検索

広告

鳴尾地区５公民館の講座案内

【★は申し込みが必要。いずれも先着順。特に表記がなければ来館受け付け。材料費は受け付け時徴収】

	月	日	曜日	時間	内容	講師	問い合わせ先
	1	21	水	13:30～15:00	「鳴尾寄席」～落語でお楽しみください～ 定員：130人　当日受け付け	笑福亭　喬介	鳴尾公民館 TEL47－3838
	2	7	土	13:30～15:00	「和太鼓演奏」～和太鼓演奏と太鼓の体験を楽しもう～ 定員：100人　当日受け付け	和太鼓「かざぐるま」	
	1	24	土	13:30～15:00	デュオたんと　新春コンサート ～オカリナ&サクソフォンとピアノ演奏で懐かしの名曲を楽しむ～ 定員:60人　当日受け付け　対象:一般 ※リクエスト曲募集: 1/9(金)までに鳴尾東公民館の所定用紙に記入してリクエストBOXへ	森下　知子(オカリナ&サクソフォン) 大島　忠則(ピアノ&編曲)	鳴尾東公民館 TEL49－1300
★	2	21	土	13:00～15:00	デコ巻きずしを作りましょう！ みてかわいい！たべておいしい！おひなさま 定員:20人　対象:一般(保護者同伴の場合小学生可) 申し込み:１月13日(火)9:00～来館または電話にて受け付け 材料費:500円(当日徴収) 持ち物:エプロン、三角巾、水分補給の飲み物	一般社団法人CraftLab 石原　当代	
★	1	17	土	10:00～13:30	くらし・消費者講座「男の料理教室」 ・三色そぼろ丼　・豚肉と大根の重ね煮 ・青菜ともやしのごま酢和え　・豆腐とわかめの味噌汁 定員:12人　対象:男性(中学生以上) 申し込み:1月8日(木) 9:30～来館にて受け付け 材料費:900円(申込時)　場所:1階実習室	栄養士　工藤　惠子	学文公民館 TEL41－6050
★	1	30	金	10:00～12:00	環境・自然・科学講座 ～フォトフレームアレンジ～「ドライフラワーで簡単クラフト」 定員：20人　対象：一般 申し込み：1月15日（木）9:30～来館にて受け付け 場所：3階 講堂　材料費：1500円（申込時）	&fleur フラワーアレンジメント 前田　沙那	
★	2	13	金	11:00～13:30	健康・福祉講座「食育を楽しむ会」 ～たんぱく質でフレイル予防！～ テーマに沿ったお食事をいただきます （注）ご飯は付いていません 定員：20人　対象：一般 申し込み：２月３日（火）9:30～来館にて受け付け 場所：１階 第１集会室　材料費：700円（申込時）	滋賀医科大学客員准教授 食育グループHealthy＋ 代表　森　真理	
	1	31	土	14:00～15:30	大河ドラマ　歴史講座　第2回「豊臣兄弟　太閤の片腕として」 定員：50人　当日受け付け	元西宮東高等学校教頭 霜澤　喜代子	高須公民館 TEL49－1312
	2	4	水	10:30～11:45	音楽講座　バレンタインコンサート 定員：50人　当日受け付け	声楽家　山崎　小夜子	
	3	1	日	13:30～15:00	音楽講座　歌のひろば 定員：80人　当日受け付け	うたごえサークル　あおいそら	

【地域医療講座】講師：明和病院医師など（明和病院の協力を得て開催している講座です）

	2	9	月	14:00～15:30	「地域医療講座」～睡眠時無呼吸の話～ 定員:60人　当日受け付け	耳鼻咽喉科 部長　奥中　美恵子	鳴尾公民館 TEL47－3838

●なるお会館からのお知らせ●

なるお会館文化祭

舞台発表…3階集会室
3月8日(日)10時～15時ごろ

作品展示…2月20日(金)～3月15日(日)9時～16時
前半の部・後半の部で、作品を変えて展示。月曜は休館日です。

生涯学習鳴尾大学学生募集

期　間…4月～翌年2月
定　員…80人
受講料…無料
入学資格…鳴尾地域在住で満60歳以上の人。ただし、令和6、7年度卒業生は除く。

なるお会館趣味教室生徒募集

期間…4月～翌年3月（8月を除く）
教室名…太極拳A・B、絵画(水彩)、みんなの歌、書道、子ども英語、初心者囲碁、俳句。
場　所…なるお会館
資　格…鳴尾地域在住の人
年会費…3500円

申込方法…往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、〒663-8184 西宮市鳴尾町3丁目8-7 なるお会館まで。
締め切り…2月28日(土)必着。
主催…公益財団法人鳴尾会

問い合わせ先　なるお会館 ☎0798-46-8200(祝日を除く火～金曜日、9～16時)

“専門職がいるデイ”
HOMEY
リハビリデイサービス甲子園
〒663-8176　西宮市甲子園六番町19-3-101　TEL:0798-42-8470　FAX:0798-42-8471
広告